



エッセイ
「神さま気分」



20230619



エリー



目次

エッセイ	1
ChatGPT	3

エッセイ

突然ですが、ビフィズス菌の気持ちを想像したことはありますか？

そう、ヨーグルトに入っている、あの腸内細菌です。

ヨーグルトでも生きられますが、動物の腸の方が、より快適に増殖します。

まるで母星を失った地球人が、宇宙に飛び出し、第2の故郷を得るように、ヨーグルトから人の体内に入る。

この時、ビフィズス菌は、宿主であるあなたを感知しているのでしょうか？

宇宙を旅する地球人なら、生き物の口と思わず、「ブラックホールにつかまったぞ！」と感じるかもしれません。

ここからはスケールを比較しながら、想像してみましょう。

もし人が神である宇宙生命体の腸に生きる腸内細菌なら、あなたは神の意識を感じることが出来ますか？

自分の体内に共生するビフィズス菌を、神と人に置き換えるなら、その気持ちは「環境をよくしてくれ！」ではないでしょうか？

人は天災を恐れ、恵みを求めます。

平穏を願うことは腸内細菌も同じではないでしょうか。

もし、下痢を恐れ、良質な食材を求めるビフィズス菌に、神のような存在であるあなたが祈られたら、あなたは願いを叶えますか。

神さま、どうします？

ChatGPT

メッセージ

下記のエッセイ「神さま気分」を面白くして！

「神様の気分」：宇宙のつながりを探る

ビフィズス菌の複雑な世界について立ち止まって考えてみたことはありますか？ ヨーグルトによく含まれるこれらの小さな腸内細菌は目立たないように見えるかもしれませんが、興味深い物語を秘めています。気まぐれな旅に出て、彼らの視点から世界を想像してみましょう。

これを想像してみてください。ヨーグルトはこれらの天体にとって宇宙船のようなものであり、新しい住処を求めるビフィズス菌の避難所のようなものです。地球を失った地球人が慰めを求めて宇宙へ冒険に出るのと同じように、ビフィズス菌も同様の探求をしていることに気づきます。しかし、ここに興味深い質問があります。これらの微小な乗客は宿主である人体を感知できるのでしょうか？

もし私たちが宇宙を旅する地球人だったら、それが実際に生き物の口であることに気づかずに、自分自身がブラックホールに捕らえられていると感じるかもしれません。それは困惑した考えですよ。さて、宇宙的な思考実験を行って、存在のスケールを比較してみましょう。

人間を、神聖な宇宙生命体の腸内に住む腸内細菌として想像してください。このシナリオでは、細菌として私たちは神と呼ぶこの至高の存在の意識を感じることができるでしょうか？ 私たちの体内に共生するビフィズス菌を神様や人に置き換えると、彼らの「環境を良くしたい」という思いに共感できるでしょうか？ 人間が自然災害を恐れて祝福を求めるのと同じように、ビフィズス菌も下痢の惨状を恐れて平和な存在を望むことができるだろうか？

ここで考えてみましょう。高品質の食材と消化不良からの解放を切望するビフィズス菌の願いを、神のような存在としてあなたが叶えることができるとしたら、あなたはどうしますか？ 彼らの心からの願いを授けてくれませんか？ 興味深い質問ですね。

この「神様の気分」の気まぐれな探求の中で、私たちは、その大きさや性質に関係なく、すべての存在の相互つながりについて熟考していることに気づきます。人間がより高い力の慈善を切望するのと同じように、ビフィズス菌もまた独自の欲望と希望を抱いているのかもしれない。これは美しい対比であり、存在の最も小さな領域にも意識や願望が存在することを思い出させてくれます。

したがって、私たちが広大な宇宙を旅し、存在の謎を探求するとき、私たちの体の目に見えない住人である謙虚なビフィズス菌のことを忘れないようにしましょう。なぜなら、彼らの世界では、平和と安らぎを求める私たちの願いが共鳴しており、もしかしたら、もしかしたら、もしかしたら、神のような存在としての私たちの思いや祈りが、これらの微細な生命体によって聞かれ、答えられるかもしれないからです。

結局のところ、「神様、どうするつもりですか？」これは痛切な質問となり、生命の相互関連性と、宇宙のタペストリーの中で最も微細な生き物の運命を形作るために私たちが持つ力について熟考するよう促します。

エッセイ「神さま気分」20230619

著 ELYE

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
